

樋口一葉の世界 2019 ◆ 三越劇場 10年連続記念

奥山真佐子ひとりの芝居

一葉日記

そして別れ霜



2019年

9月14日 土 (午後2:30開場)
午後3:00開演



MITSUKOSHI
三越劇場

〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店 本館6階

料 金
6,000円
(全席指定・税込)

奥山真佐子ひとり芝居

一葉日記そして別れ霜

原 作：樋口 一葉
脚 本：英次 ともる
演 出：鈴木 龍男



ひぐち いちよう
樋口 一葉 (1872年~1896年)

甲州市塩山出身の両親を持ち、東京に生まれる。14歳で歌塾「萩の舎」に入塾。父の他界後、小説家として一家を支えるべく半井桃水に師事。19歳で処女作「闇櫻」脱稿。数々の小説を発表するが、生活の糧となるには届かず下谷龍泉寺町に転居し商売を始める。10ヵ月足らずで店を閉じ本郷に戻り、龍泉寺町での暮らしを題材に小説「たけくらべ」を発表する。森鷗外、幸田露伴らに絶賛される。しかしながらその年の11月23日、肺結核により24年の生涯を閉じる。2004年11月、五千元紙幣の肖像となる。日本で初めての女性職業小説家。



おくやま まさこ
奥山 真佐子 <樋口一葉・新田高・松沢芳之助>

甲州市出身。文教大学文芸科卒。マキノ雅弘・山田五十鈴・金子信雄・丹阿弥谷津子各氏に師事。現代に失われつつある美しい日本語で表現される樋口一葉の小説と日記を原文に注釈や工夫を加えての「朗読」や生演奏と共演の「ひとり芝居」により伝え続けて22年。三越劇場では2016年に一葉没後120年記念「ひとり芝居3日3作品連続公演」を行うなど、本年10年目の公演を迎える。NHK「武田信玄」「あぐり」、黒澤明監督「まあだだよ」、外務省制作映画「東京24時」等に出演。舞台「生きてゆく私」で御園座社長賞(演技賞)、一葉作品連続公演に対し

「別れ霜」は、明治二十五年(一八九二年)に一葉が執筆した二作目で、「浅香のぬま子」の筆名で改進黨に発表された連載小説です。
《あらすじ》
一幕(樋口家)
雪の日、奈津(一葉)は、小説の師・半井桃水宅より帰宅。新聞小説に書き直すよう指導された原稿「別れ霜」の前半を、妹・邦子に語り聞かせる。
二幕(別れ霜)
先祖代々助け合つて呉服店を繁盛させてきた松沢家と新田家が子供同士に許嫁を交わしたのは八年前。しかし婚礼目前、金欲にかられた新田家の主・運平は松沢家を窮地に追い込む。相思相愛で、共に婚礼の日を待ち望んでいた松沢芳之助と新田高の運命は……。

〈細うで繁盛記賞〉受賞。「夢見る葡萄」「とと姉ちゃん」等NHKドラマの山梨ことば指導を担当、「花子とアン」の指導に対し首都圏甲府会会長賞を受賞。新人俳優への演技指導にも定評がある。

<語り>

原宿駅前ステージを中心に公演を行うダンスボーカルグループ「原駅ステージA」
2nd Single
『キャンボール/青い赤』
<http://harajuku-estage.jp/profile/>



たや ななこ
田谷 菜々子



まきの まりこ
牧野 真鈴



いとう ともこ
伊藤 貴璃

<スタッフ>

所作指導：花柳 奈千穂 美 術：佐々波 雅子 衣 裳：金子 龍子
照 明：須藤 実 箏曲作曲：小二田 茂幸 床 山：武川 卓男
美 粧：浅利 悦子 舞台監督：TAKE4 制 作：根本 三四子

資料提供：樋口 智子さま

協 力：文京区法真寺/台東区一葉記念館/鎌倉市鶴木清方記念美術館
山梨県立文学館/甲州市塩山常泉寺/新宿あいうえお/東宝舞台(株)
(株)アイロリ・コミュニケーションズ・エンタテインメント/(有)クライム・シンク



ふじまつ えんみょう
富士松 延明 <新内>

富士松 延治太夫社中、新内三味線名取、師範。4歳よりピアノをはじめ、演奏、グループアンサンブル、作曲レッスンを受ける。昭和音楽大学作曲学科卒。横浜主催「横浜はじめて物語」、IFOCOMサミット、「ゆうれい貸家」、劇団銅鑼「ひめち」、「僕を待つ部屋」、川口圭子一人芝居「花いちもんめ」、淑徳大学表現学科演劇発表レクチャー、文化庁主催「やってみようプロジェクト」他、様々な演劇、朗読の音響、音楽を手掛ける。三味線、ピアノ講師、作曲家。



ないとう みちよ
内藤 真代 <箏>

福井県出身。幼少の頃よりアララギ楽苑渡辺悠子氏に手ほどきを受ける。第5回全国高校邦楽コンクール第1位受賞。福井県文化協議会新人賞受賞。NHK邦楽技能者育成会第46期卒業。上京後、箏曲以外のジャンルにも意欲的に参加。現在、大久保STUDIO-Mにて小二田茂幸氏の作品を中心に活動中。2016年9月にアルバム「かしこ」を発表。



ふくはら きよひこ
福原 清彦 <笛>

歌舞伎囃子福原流笛方。福原流宗家四世寶山左衛門(六世福原百之助)門弟。東京芸術大学音楽学部邦楽科長唄囃子専攻卒。長唄協会会委員。朝日カルチャーセンター新宿教室講師、新富座こども歌舞伎にて囃子指導。篠笛と能管を演奏し、「福原清彦の笛の会」、「福原清彦笛俱樂部」等リサイタルを開催。築地本願寺講堂「横笛と読経の会」出演。「Waライブ両国亭」プロデューサー。世界各国で海外公演も多数。CD「福原清彦笛俱樂部」

2019年
9月14日 土 (午後2:30開場) 料 金
午後3:00開演 6,000円
(全席指定・税込)



MITSUKOSHI
三越劇場 〒103-0001 東京都中央区日本橋町1-4-1
日本橋三越本店 本館6階

- ご予約・お問い合わせ
- 河佐井プロモーション
TEL 03-6454-1955 (平日11:00~19:00)
 - いちまるよん
FAX 0467-24-1900
インターネットご予約 info@okuyama104.com
 - 三越劇場
TEL 0120-03-9354 (10:00~18:30)
インターネットご予約 <http://mitsukoshi.mistore.jp/bunka/theater/>
【三越劇場の前売開始は7月1日(月)午前10:00~ 初日はお電話・インターネットご予約のみ】

企画・制作 いちまるよん
ホームページ <http://www.okuyama104.com/>

